

国際的に評価の高い
現代音楽のアンサンブル・ユニットによる
初めての地方公演

2010
10/1 fri

時間

18:30開場 19:00開演

場所

四万十市立文化センター



Ensemble NOMAD

アンサンブル・ノマド

出演者

木ノ脇道元 (fl) 中川賢一 (pf) 佐藤洋嗣 (cb) 宮本典子 (perc) 養田真理 (vn) 吉川真澄 (sop) 佐藤紀雄 (gt・cond)

チケット：一般 ¥1,000 (当日 ¥1,200) 高校生以下 ¥500 (当日 ¥700)

●主催/四万十川国際音楽祭実行委員会

●共催/高知県立美術館

第60回高知県芸術祭協賛行事

●後援/高知新聞社・朝日新聞高知総局・読売新聞高知支局・毎日新聞高知支局・産経新聞高知支局・日本経済新聞高知支局・RKC高知放送
NHK高知放送局・KSSさんサンテレビ・エフエム高知・KUTVテレビ高知・中村ロータリークラブ・四万十ロータリークラブ
四万十ライオンズクラブ・国際ソロプチミスト幡多・中村青年会議所・中村商工会議所・土佐くろしお鉄道

Ensemble NOMAD

国際的に評価の高い
現代音楽のアンサンブル・ユニット

日時：2010年10月1日（金）

会場：四万十市立文化センター



佐藤紀雄 (gt・cond)



木ノ脇道元 (fl)



佐藤洋嗣 (cb)



宮本典子 (perc)



蓑田真理 (vn)



中川賢一 (pf)

アンサンブル・ノマド Ensemble NOMAD

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」（遊牧、漂流）の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されてきた。1998年から毎年開催している定期演奏会のほか、ダンスとのコラボレーションを行うなど、国内のさまざまな音楽祭やホールから招待されてきた。2002年度に行なった定期演奏会「ページとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡」は、大きな反響をよび、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を受賞した。

海外からの招待も多く、2000年オランダの「ガウデアムス音楽週間」、2003年ベネズエラで行なわれた「フェスティバル・アテンポ」、2005年11月パリで行なわれた「フェスティバル・アテンポ」、イギリスの「ハダースフィールド現代音楽祭」、また2007年にはメキシコの「モレリア国際音楽祭」などで公演した。2008年はソウルで行われた「パン・ミュージック・フェスティバル」に招待され、文化庁の助成によりソウルで2回、テグで1回の演奏会を持ち、2009年は中国の北京首都師範大学、中央音楽学院、四川音楽学院でコンサートを行った。今後も、オーストラリア、オランダなどからの招聘が予定されている。

CDは、近藤譲「梶子」(ALCD-47)「空の眺め」(ALCD-57)、「オリエント・オリエンテーション」(ALCD-67)、石田秀実「神聖な柱の湿り気を運ぶもの」(ALCD-60)、池辺晋一郎「炎の資格」(CMCD-28121)、福士則夫「花降る森」(CMCD-28128)が発売されている。

公式サイト：<http://www.ensemble-nomad.com/>



吉川真澄 (sop)

●チケット取扱所

フジ中村店・フジグラン四万十・アピア
さつき・サニーマート四万十店・市内楽器店・鈴ハイヤー・沢近画廊・田中屋・土佐くろしお鉄道中村駅売店・高新プレイガイド・四万十市立中央公民館

【会場ご案内図】



P お車でお越しの方は、中村小学校校庭をご利用ください。